

「市議会との意見交換会」及び「学校運営協議会・自治会代表者説明会」の開催結果

○市議会との意見交換会

【対象】

市議会議員

【開催日時】

令和6年4月18日（木） 午後1：00～午後3：00

【開催場所】

本庄市役所 議会棟 全員協議会室

【参加者】

21名（全議員参加）

○学校施設を含む公共施設等の方針に係る説明会

【対象】

自治会長、学校運営協議会委員

【開催日時】

	開催日	開催時間
①	令和6年5月7日（火）	午後6：00～午後8：00
②	令和6年5月12日（日）	午前9：30～午前11：30
③	令和6年5月12日（日）	午後3：00～午後5：00
④	令和6年5月14日（火）	午後6：00～午後8：00

【開催場所】

①／③：本庄市役所 6階 大会議室

②／④：本庄市児玉文化会館セルディ 2階 大会議室

【参加者】

	自治会長	学校運営協議会委員	合計
①	17名	37名	54名
②	16名	14名	30名
③	16名	17名	33名
④	11名	8名	19名
合計	60名	76名	136名

【学校別の参加者割合】

学校	①	②	③	④	合計	全参加者に対する 参加割合
本庄東小学校	3	1	1	0	5	3. 3 %
本庄西小学校	6	1	5	0	1 2	7. 9 %
藤田小学校	8	0	4	0	1 2	7. 9 %
仁手小学校	9	0	1	0	1 0	6. 6 %
旭小学校	2	1	1 0	1	1 4	9. 3 %
北泉小学校	1	2	5	1	9	6. 0 %
本庄南小学校	6	1	3	2	1 2	7. 9 %
中央小学校	1 2	1	2	0	1 5	9. 9 %
児玉小学校	1	8	0	5	1 4	9. 3 %
金屋小学校	0	8	1	2	1 1	7. 3 %
秋平小学校 (本泉小学校含む)	0	4	0	5	9	6. 0 %
共和小学校	2	5	1	3	1 1	7. 3 %
本庄東中学校	2	1	1	0	4	2. 6 %
本庄西中学校	2	0	1	0	3	2. 0 %
本庄南中学校	5	0	1	0	6	4. 0 %
児玉中学校	1	2	0	1	4	2. 6 %

※各中学校については、各中学校の学校運営協議会委員の参加者数のみ計上しています。

※2つの小学校区を持つ自治会や、中学校と小学校の両方の学校運営協議会に所属する委員がいるため、参加者の合計数と同一になっておりません。

※四捨五入の都合上、「全参加者に対する参加割合」の合計値が100%となっておりません。

【開催風景】



学校に関するご意見・ご質問

番号	分類	ご意見・ご質問の内容
1	学校統廃合	藤田小だが、子供の数が年々減少してるのは確かである。自分の子供のクラスも１３名しかいない。近い将来合併することは否めない。合併賛成！！
2	学校統廃合	学校統合は何のためにするのか。説明を受けた印象として、第一に財政を考えているのかと感じた。
3	学校統廃合	仁手小学校区だが、子供の数が年々減少しているのは確かであり、自分の子供のクラスも３名しかいない。近い将来合併する事は否めない。あとは子供たちが安全に学校に行けて将来を見据えられる教育を望む。
4	学校統廃合	学校の統廃合は、地域コミュニティが崩れて過疎化が進んでしまう。対策を考えているのか。
5	学校統廃合	人口や児童生徒数に合わせた統合は必要と考える。
6	学校統廃合	小中の統合◎ 子供たちの教育だけでなく、仲間づくりや親の交流にも良いと思う。子供や親を取り巻く環境も大きく変わる時代だから広い世界を見つけてほしい。
7	学校統廃合	統廃合の該当地区への十分な説明と意向聴取が必要。
8	学校統廃合	統廃合は仕方のないこと。該当地区の皆様が納得されるよう、廃合される地域の皆さんの気持ちを慮った説明会が今後なされるよう希望する。
9	学校統廃合	小中学校の教育環境の向上で一律に実施するのではなく、予算上の問題もあると思うが、可能などころから早期に実施したらどうか。
10	学校統廃合	諸々の賛否意見ある中で、今回の説明会の内容については、大変苦労されて素案を作られたのだと理解する。スクールバス、プールの活用など、具体的なものはこれから検討されると思うが、各地域でよく説明して進めてほしい。
11	学校統廃合	将来の児童生徒のために様々な対応を考えていただき、ありがとうございます。とても良い案だと思います。特に児童生徒の安全対策、心のケアに配慮していただけると嬉しいです。
12	学校統廃合	説明会に参加してよかったです。統合後の学校から学童までの交通手段を考慮していただきたい。子供の安定した居場所がなければ、親は働くことができません。とてもシングル家庭が多い世の中です。どうぞよろしくお願いいたします。
13	学校統廃合	異なる小学校出身の人間同士で新しく人間関係を結ぶことが可能になる一方、今までの友達関係が壊れてしまうことが不安に感じる子もいると思います。保護者にも優しい教育環境の向上を目指してほしいです。
14	学校統廃合	子どもが減っているのは現状で、統合も納得します。その中で不登校や児玉小でいうとなかよしクラスの子供たちの対応も、市として大切にしていっていただきたいと思います。個人の可能性を伸ばしていただける環境であってほしいです。
15	学校統廃合	小中学校の教育環境の向上について、少子化による児童生徒の減少、施設の老朽化等により整備計画案の方向で良い。
16	学校統廃合	児玉区の小学校4校の統合は良いと思う。場所も旧児玉高校跡地なら中学校に隣接しているので、９年間通うのに良いと思う。
17	学校統廃合	少子化に伴い学校の統廃合は必要だが、子供を育てやすい環境作りをもっと重点とした市政を行うことが重要。
18	学校統廃合	学校施設の統廃合については、通学時の安全確保や教職員の児童へのきめ細かな指導なども含めて保護者の理解が得られるような説明が必要だと思います。
19	学校統廃合	統廃合に関してはなかなか意見が言いにくい。納得できない（気持ちの中で）部分があるが…。
20	学校統廃合	児玉地域の小学校は児玉小学校への統合に賛成。
21	学校統廃合	今後の児童数の減少により、学校の統合はやむを得ないと思うが、今後、各学校のPTAや地域住民への説明が必要です。
22	学校統廃合	児玉小学校、金屋小学校、秋平小学校、共和小学校の４校を合併するということで、これは令和１８年度に開校するということで決定なんでしょうか。説明会を７月頃から開催することなんですが、令和１８年度に開校が決まったのことなのか、説明会で意見を聞いて変更があるものなのか、どちらなのでしょう。
23	学校統廃合	児童数の減少、施設等の老朽化の対応ということで、統廃合のタイムスケジュールについてご説明がありましたが、これについては、この案で進めていただいて、地域の方のご意見等を伺う中で、修正できる部分は声を生かしていただくという進め方で良いと思います。
24	学校統廃合	地域のシンボルである学校がなくなるのは非常に寂しいなと思うところでございます。
25	学校統廃合 プール授業	元教員のため、学校のことも経験がありますが、学級の人数は少なければいいとは思っておらず、少なければ少ないなりに弊害があります。１年生から６年生まで少人数で、１学級でどんな問題があったかということ、子供同士の上下関係が変わらないので非常に閉塞感、諦め感、いじめもあった学校もあります。人数が多くて困ることもあるかもしれませんが、今回の統廃合の話聞いて、大いに期待できる計画だと思いました。 また、何十年も前から気になっていたのがプールのことです。だいぶ前から各学校のプールは老朽化しており、修理などの業務や、プールの水の維持管理など、本当に先生方の労力が大変であり、お金もかなりかけていると思います。以前から、どこか室内で通年で活用できるプールがあれば、交通手段が大変だろうけれども、年間を通じて事業ができて素晴らしいだろうというのは、教員の頃から思っていました。すごく期待しています。

番号	分類	ご意見・ご質問の内容
26	プール授業	小学校のプールを1ヶ所に集めて共有する話ですが、湯かっこのプールを使って2か所で行う予定というのはあるのでしょうか。
27	プール授業	プールですが、全部の小学校で共通して使うとなると、時期はやはり学校によってバラバラなんでしょうか。授業のときに送り迎えが必要になると大変なところもありますので、どう いう方法で計画をしているのかお聞きしたい。
28	統合時期	小学校の統合を、令和13年度、令和18年度、令和21年度に予定しているということで、複式学級、単学級の解消に向けて統合するという理屈は分かるが、児童としてはこれから 小中一貫教育になることや、統合することで混乱してしまうところがあると思われる。他市では全ての中学校区で義務教育学校を作っていくという指導方針を打ち立てている市もある が、このスケジュールではそれぞれの時期が違うため、少し混乱が生じてしまうのではないかと不安がある。
29	統合時期	整備スケジュールについて、児玉中学校区の統廃合場所が未定であるため、本庄西中学校区と順番を変更したほうがスムーズだと思った。
30	統合時期	見直しの時期をもっと早めていただきたい。
31	統合時期	説明はよく理解できました。大変な状況ですが、スピードアップして進めてください。
32	統合時期	全体の小学校、中学校の一貫教育の関係ですが、スケジュールを見ますとかなり長い期間検討するんだなということを思いました。もう少しスピードアップできないでしょうか。
33	統合時期	全体の整備スケジュールということですが、予定されている最後の統廃合時期は、今年小学校に入った子どもが高校を卒業してしまう年になってしまう時期になると思います。予算的 なものもあるから難しいと思いますが、これを少しでも前に詰めてやる方向は取れないのかなと。
34	小中一貫教育	教育環境の整備を最優先にする上で、中学校ごとに小学校をまとめて小中一貫教育を進めるというのは非常に有効な方法と思いますが、具体的に小中一貫教育をどのように進めるのか について、あまり説明がなかったので、今後、保護者や地域の方々に説明するに当たっては、小中一貫教育はこのようなメリットがあるということをもう少し説明してもらいたい。
35	小中一貫教育	小中一貫教育を進めることで、5、6年生を教科担任制にするということや、本庄市独自の教育として、小中一貫教育の内容についての具体策をもう少し考えられるといいと思う。例 えば、小学校の先生が部活動をお手伝いする、中学校の先生が小学校のクラブ活動のお手伝いするなど、具体的なレベルで教育委員会においても検討して説明できると良い。
36	小中一貫教育	小中一貫教育はかなりのメリットがあるので、是非とも進めていただきたいと思いますが、誰がそれを進めていきたいのかということが見えてこない。昨年、本庄西中学校を改修する に当たって、本庄市で小中一貫教育を進めるとすれば、本庄西小学校、本庄西中学校の2校の位置関係が非常に良いため、改修に際して小中一貫教育も考えているのか確認した際も検 討されていないとのことであったため、その点をもう少し調整した方が良い。
37	小中一貫教育	教職員の意識改革として、小中一貫教育が大切であり、実践に向けて周到な準備・計画が必要である。具体的には学習教材の共有、学校行事である体育祭、音楽祭、校外行事等の合同 開催、部活動の小中交流など取り組みやすい具体的な課題を小中教職員で協同して進めることなどが挙げられる。学習面での一貫教育については、9年間を見通した緻密な教育課程の 検討や教職員の人事交流が必要である。
38	小中一貫教育	是非、この機会に小中一貫教育を本庄市でも積極的に進めますというようなアピールをしたら良いと考える。
39	小中一貫教育	神川町では小中一貫校を作るという方針であり、県南でも大規模な学校を数校作るという話が出ている。小中一貫教育ということが全国でも一斉に進められている理由は分からない が、メリット・デメリットをよく検討して、しっかり進めてもらいたい。
40	小中一貫教育	地理的な面もあるため、小中一貫教育は中学校区ごとになるということによいか。市内で小中一貫教育のパターンが異なることも良くないため、最終的な形を示せると良い。義務教育 型で小・中学校の校長先生を一人で運営するものもあるため、どこを目指すのが明確にしてもらいたい。
41	小中一貫教育	小中一貫教育を希望。
42	小中一貫教育	小中一貫教育は大変良いと思います。早く実施してください。
43	小中一貫教育	まずは折角統合小中一貫教育に向けて動くのであれば、本庄市の教育に対する方針・理念を検討されてはどうか。仕方なしに消去法で統合するのはネガティブ。前向きに外からも本庄 市で教育を受けさせたいと流入人口を増やすことも必要な視点ではないか。また、一気に統合するのはリスクが高いので、一か所ずつ検証しながら成功事例を作っていくほうがベ ター。
44	学級定員	15～25人程度の少人数制クラスの導入は検討できないのか。
45	学級定員	東小、東中、北泉小、中央小すべての学校を少人数学級にして、ゆったり丁寧に教育してほしい。

番号	分類	ご意見・ご質問の内容
46	通学距離・通学時間	通学距離と通学時間について、小学校は概ね4 k m以内で1 時間以内ということは、どのように検討されたのか。令和4 年9 月に教育委員会から各保護者に依頼したアンケートの結果では、1 時間ぐらい歩いたら夏場は熱中症になる可能性があるなど危惧している意見や、3 0 分、4 0 分歩いてくる児童の中には、軽い熱中症の症状が出たことも多々あったという先生、保護者の意見もあった。登校時の熱中症を心配する意見がアンケートでは十数件あったが、その点を考慮して、この4 k m以内と考えているのか。スクールバスを検討とも書いてあるが、アンケートではスクールバスを出してほしいという意見が非常に多いため、検討ではなく、スクールバス等をやっていくということを入れてもらわないと、保護者としては子供が熱中症になる可能性や、下手をすれば死んでしまう可能性もあるため、明確に書くようにしてもらいたい。
47	通学距離・通学時間	小学生が徒歩で通える距離、時間として4 k m、1 時間は長すぎる。最大2 k m、3 0～4 0 分程度が限界ではないか（体力上、防犯上）。統合後、仁手地区もスクールバスは必須。
48	通学距離・通学時間	特別学級に通っている障害があるようなお子さんなどは、通う距離が長くなってしまうのは大変ではないか。
49	スクールバス	スクールバスの導入は積極的に進めてほしい。
50	スクールバス	スクールバス配車を十分配慮していただきたい。
51	スクールバス	校区合併時の子供たちの送迎について、バスでの送迎等検討をお願いします。（学童保育を含めて）
52	スクールバス	小学校の統合にあたっては児童の登下校の安全のため、スクールバスの運行をしっかりと整えていただきたい。
53	スクールバス	小学校統合に伴うスクールバス計画（運行）地区の案を、今後の地域説明会で提示してほしい。
54	スクールバス	スクールバス等の通学手段を検討。スクールバスを導入しますと有りますが、具体的に早めに決めてください。
55	スクールバス	学校の統合でスクールバスの利用とあります。統合により通学距離が長くなった場合には、スクールバスを導入するということですが、宮内地区は金屋小学校までも3 k mくらいありますが、児玉小学校にしても、児玉高校跡地にしてもだいたい距離があるので、スクールバスをしっかりと導入していただくことは児童の安全のために是非やっていただきたい。どの程度の距離、時間を要する場合にバスを運行する予定なのか分かりませんが、安全のためには短い距離でもという考え方もあると思います。
56	スクールバス	規模の適正化についてはいろいろ説明をお聞きしまして、こういった波はもう仕方ないのかなと感じます。検討事項の例の中で、児童生徒の通学方法ですが、児童にはかなり負担になることが当然予想されます。説明の中でも、スクールバス等を利用するということはあると思いますが、かなり遠くに行かれる児童もこれから増えてくることが予想されます。そういった場合にスクールバス等を何台ぐらい用意できるのかと大変心配しております。
57	スクールバス	小学校1 年生は4 Km歩いて通うことは無理だから、スクールバスを利用する？
58	スクールバス	通学距離が長くなる子どもが増えることで、スクールバスを導入する自治体が多いが、スクールバスを通学という目的だけではなくコミュニティバスのように活用し、地域の足を確保するという手法も考えられる。
59	学校区	通学区などを見直して、藤田小へ人数を割り振ったらどうだろうか。学校区を跨いで通学できるようにしたらどうか。
60	学校区	線路を超える通学区域の見直しも統合を機に行うべきかと思います。
61	施設整備	学校施設の改修には、現場の先生方の意見等も十分取り入れてやっていただきたいと思います。
62	施設整備	児玉地区の統合小学校の設置予定地ですが、ぜひ旧児玉高校跡地を希望します。学校、教育環境施設は一か所に集約されていると保護者や子供たちにとって通いやすいのではないかと感じております。
63	施設整備	児玉中学校区統廃合の案で、児玉小及び旧児玉高校の2 パターンが出ていますが、旧児玉高校を使用していただく案を希望します。小中一貫教育の推進とのことで、旧児玉高校は児玉中の後ろ側に建っているので、立地の面でも小中一貫になるのではと思います。旧児玉高校の校庭はとても素晴らしいグラウンドなので運動面でもかなり良いと思います。
64	施設整備	旧児玉高校を新しい学校にした場合、安全な道路を整備してもらいたい。
65	施設整備	コロナ禍のときには空き教室が役立つということがあった。1 学級の定数も現在は3 5 人だが、将来的に児童が多少減少するところもある一方で、増加するところも市内にはあるのではないかと思う。1 学級の定数が3 0 人、あるいは2 5 人となった場合、教室が足りないと困るため、余裕を持って教室を確保しておくということも必要ではないかと思う。
66	空調設備（体育館）	学校の体育館に空調設備を入れることについて、新しく建て直して空調を入れるのか、改修するのか、説明がなかったのでご説明いただきたい。
67	空調設備（体育館）	体育館の空調設備について、学校の統廃合も検討されている中でスケジュールをしっかりと組んで取り組んでももらいたい。

番号	分類	ご意見・ご質問の内容
68	校舎の解体	学校統合後に校舎を解体すると書いてあるが、それが簡単にいくのか。本泉小学校は現状のまま残っており、この後、藤田小学校や仁手小学校、児玉地域の小学校が解体という話が入ると、簡単に進む話なのか心配している。地域の住民や保護者、児童生徒の考えもあるため、慎重に進めていかななくてはならない。
69	小学校跡地	小学校の再利用を考えるべき。気象庁・環境省に貸し出しては。
70	小学校跡地	林間学校に小中学校で行くと思いますが、統廃合で学校がなくなったときに、跡地に林間学校のような体験をする施設を作って、体験型の学習ができるようなものを将来的に考えられるのか教えてください。
71	教育環境の向上	学校教育課の教育環境の向上について、少子化の影響による児童・生徒の減少、そして建物の老朽化ということで案が出されたのだと思います。課題の2つとして挙げられている「学力の向上」と「不登校児童生徒数の増加」ということで、学力の向上に向けた本庄型スタンダードと記載されているものが何かという点が一つで、また、表を見たときに学力が県平均を下回っているということですが、98や99であれば少し低いかなと思いますが、9割いかないという状況はかなり低いだろうと理解しています。それに関して本庄型スタンダードということで取り組んで学力向上を図っていると思いますが、この言葉だけで分からないので教えていただきたい。学力に関して言えば児童生徒が減っていけば、1クラスの児童生徒数は少ないことからきめ細かい授業ができると思います。その中で学力が伸びないのはなぜなのかということが、どのように把握して対応していくかをお聞きしたいです。
72	学力の向上	少しずつ学力が向上しているというところの、少しずつのところを示していただければ、皆さんも本当に本庄市の先生方が頑張って子どもたちも伸びてるなっていうのが分かるので、令和5年度の結果だけを切り取るのではなく、示し方を考えていただけるとありがたいなと思います。もう一つは、質問紙調査で自己肯定感が高いという良いところを是非こういう資料の中に載せていただければと思います。
73	不登校対策	不登校のお子さんや障害など支援を要するお子さんの配慮をお願いいたします。
74	不登校対策	不登校に関して直近の課題となっているということで、課題の解決に向けて、例えば月10日以上有的时候には必ず家庭訪問してますとか、こういった場合はこう対応していますということが、文章として残らなくても説明の中に入れていただければと思います。今度、地域説明をするに当たっては、保護者の方が不安を持つと思うので、それが解消できるような資料作りをしていただけるとありがたいと思います。
75	不登校対策	不登校は大規模校のほうが多いのではないかな。
76	中1ギャップ	統廃合の理由として4つ挙げられている課題にすごく違和感を覚える。施設の統廃合と学力の向上や不登校児童生徒数の増加、中1ギャップなどがあるが、それは別のことではないかなと思う。文部科学省からも、中1ギャップという言葉は簡単に使ってはいけないという趣旨の指標も出ており、合理的な建物の配分や人数の配分等は分かるが、それと学力の向上、不登校児の課題は別の問題だと思う。
77	中1ギャップ	中1ギャップは人間関係もありますが、教科担当、担任制が行われていて、小学生から中学生に変わると、そこでのギャップについていけない子供がいるということは承知していますが、それに対して本庄市はどのように対応していくかを知りたいです。1学年2クラス以上の必要性は分かりますが、本当に統合をすることで解消できるのでしょうか。
78	小規模校	小規模校に通っている方から小規模のほうが良いというお話があったり、不登校のお子さんにとっても小規模のほうが良いのではないかと感じました。
79	小規模校	一人ひとり面倒見良く学習するためには、小規模のほうがよいと思う。 3校（本庄東、藤田、仁手）統合予定の令和13年度に児童613人、18学級とすると、1学級34人となり目が届かないと思う。
80	小規模特認校	仁手小学校を小規模特認校に認定していただいた理由はなんでしょうか。
81	小規模特認校	小規模特認校に選ぶということは、文科科学省の公表している文書にもあるとおり、統廃合を助ける一つの手立てとして選ばれています。。 そういう考え方があって特認校に選んだのであれば、地域の人に納得ができるような説明をお願いしたい。今の段階では到底仁手小学校がなくなることを飲むことは考えられない。
82	住民説明会	今後の住民説明会について、これからの児童生徒の親御さんへの説明を丁寧に実施してください。
83	住民説明会	統合になったときに保護者が一番気になるのが通学距離の長さ、それから小規模校のメリットである児童一人ひとりに目が行き届くということで、小規模校のメリットを保護者が感じてらっしゃると思いますが、こういったものが大規模校で35人学級となって、実際に保護者の方々に一人ひとりに行き届いたきめ細かい事業ができるかどうかというところを理解が得られるかどうかということになると思います。そういった意味で、保護者の理解が得られるような形で説明していただければと思います。
84	住民説明会	小学校地区ごとに説明会を教育委員会主催で行ってほしい。
85	学校給食	児童が減少して学校が統合するに当たり、学校給食はどうする予定なのか。

番号	分類	ご意見・ご質問の内容
86	教職員からの意見	地域の方の意見は各学校や住民説明会等で聞けると感じますが、我々からすると教職員の意見も聞いてみたい。
87	アンケート	地域住民へアンケートを行ってほしい。保護者アンケートについて、私も書いたが、統廃合に使うことは書かれていなかった。もう一度アンケートを行ってほしい。
88	災害時の対応	災害時の引き取り訓練を学校で実施していますが、藤田地区では全員歩いて保護者児童を迎えに行きました。東小に統合となった場合に、例えば、地震発生時に車で行けない場合やバスで送ってもらえなかった場合にどうするのか心配になりました。
89	人口推計値の活用	児童生徒の減少について、国立社会保障・人口問題研究所の将来推計を活用した児童生徒数が示されているが、本庄市としては、まち・ひと・しごと地方創生など、様々な少子化対策のための取組を進めているところであり、この推計値は何もしなかった場合のものを示すものであることから、初めからこの推計値を活用するというのはどうなのかと思う。

※各説明会等での口頭質問、アンケート内の自由意見の内容を反映しています。

※資料化に伴い、文言を一部要約、修正しています。

公共施設に関するご意見・ご質問

番号	分類	ご意見・ご質問の内容
1	計画全体	持続可能な公共施設マネジメントに向けて協力いたします。
2	計画全体	資料は全体的によくまとめられている。本市のこれからの事業は大まかに理解できた。
3	見直し方針	自分の地域だけを優先する意見が多く、多方面に渡る考え方が必要であると思われる。老朽化が進んでいる現状、コンパクトに取りまとめる必要がある。
4	見直し方針	文化施設、公共施設の統合△ 交通手段などを考えているのか？と思いました。バス？はにぼん号の増便？そのための費用はありますか？これから車の運転年齢も規制が掛かるようになるのでは？ヘルパーさん、デイサービスがとても不足している中、お年寄りが人と触れ合う場所や時間がなくなること、若い人は働きにくくなるようにも思います。
5	見直し方針	各公共施設の見直し方針の説明等はわかりやすく説明されていました。しかし、具体的な動きがまだよく見えてこない部分があります。住民説明会では時系列の具体的な例示を、明確に示していただきたいと思います。公民館利用者・サークルが他施設を利用する場合、他施設が受け入れ可能でなければ現在利用されている方々の利用が継続できなくなる可能性があることは課題になると思います。
6	見直し方針	公共施設の見直しも必要であることがよく分かりました。
7	見直し方針	見直し方針の展望はよく理解できた。今後とも、多方面からの意見を聞きながら推進してほしい。応援、協力は惜しまない。
8	見直し方針	施設の見直し案について、今後、進めるに当たり具体的内容にしてもらいたい。
9	見直し方針	地域ごとの学校と施設の方向性の具体的なことが分かるような資料を作成してもらいたい。
10	見直し方針	市内の公共施設の見直し案の説明もありましたが、市内にある各施設については、これも既存のものが老朽化あるいは対応年数等を過ぎている中で対応していただく必要があると思います。その中で、統合などの対応ということも、案の内容で良いのではないかと思います。
11	見直し方針	公共施設については、建物は老朽化するので、ある程度で解体や統合とかはやむを得ないですが、付加価値をつけて、是非とも地域の憩いの場を目指していただければありがたいと思っています。特に公共施設は意外と使い勝手が悪いようなことがありますので、土日も含めて使い勝手の良い施設を設置していただきたいと思っています。
12	見直し方針	公民館については、主に運動や趣味活動等で利用されているが、自治会館等があるため地元の方の利用が少ない。旭・仁手・藤田の利用状況を見ると、多数の施設機能が同時に利用されていることも少ないことから、それぞれの小学校跡地へのコミュニティ施設の整備ではなく、施設機能は調整した上ではにぼんプラザの代わりとなるような施設を仁手地区に集約化して整備した方が、旭や藤田からの利便性も良く、適しているのではないか。
13	見直し方針	小学校のプール集約化に当たって、維持管理費用の捻出のため、利益を生み出せるシステムが必要である。
14	見直し方針	未来の子供たちのために、ダンスのできる鏡のある多目的室やe-スポーツ専用部屋、音楽バンド等が練習できる防音機能付きの部屋、はにぼんプラザのような学習スペースのある施設が整備されることが望ましい。
15	方針作成に伴う考え方	方針見直し後も年間8億円程度の財政上の乖離がある中で、この方針の作成に当たり、現状の公民館等の利用率を考慮して公共施設を見直しているのか。それともエリアで見て、この地域に無くなるのは良くないので、とりあえず残しておくという考えで整理されているのか。基本的な考え方を聞かせてほしい。
16	整備スケジュール	統廃合により廃止される施設の利用期間を教えてください。
17	施設配置	偏在型にならないように検討をお願いしたい。
18	公民館	本庄西公民館と本庄南公民館を統合、複合化する検討が始まっているということで、旧保健センター跡地への設置を一つの候補としてもらいたい。はにぼんプラザが非常に狭くて使い勝手が悪く、多くの市民が集中して使えないことや駐車場の問題もあるため、小規模でも施設を集約化して市民活動ができるような施設を設けるとともに、図書館の分館を作ってもらいたい。
19	高齢者福祉施設	老人福祉センターつきみ荘は、「老人福祉センターつきみ荘維持保全計画」で修繕して活用するという方針があったため、突然に移転となることにすごく疑問がある。入浴施設が無くなり利用者が減った事実はあるが、この施設は群馬県との県境にあるため、本庄市民だけでなく群馬県の方々も使っている中で、なぜ方向転換で移転してしまうのか。高齢者福祉ということについては、自治会館や集会所、公民館等でサロンなど様々なことを実施しており、施設まで歩いていくことで高齢者の健康に寄与するような政策も必要であるという過去の回答もあった中での方針であるため、違和感がある。つきみ荘のような施設が今後も必要であるかどうかや、高齢者福祉の在り方というものを検討してから、このような施設の必要有無の判断が必要になると思う。これから高齢者福祉の在り方を検討する協議会が発足し、高齢者福祉に最も寄与するものを協議していく中で、そのような協議なしで突然建て替えるということはおかしい。
20	高齢者福祉施設	こだま温泉の跡地を買収して、公民館や他の施設と複合化して大規模改修すれば、入浴施設もあり、非常に高齢者福祉の利便性に適しているのではないか。
21	高齢者福祉施設	各学校の体育館が一般開放されているため、老人福祉センターつきみ荘の機能についてはあえて必要ないのではないか。

番号	分類	ご意見・ご質問の内容
22	子育て支援施設	統合された後の施設の利用で、子育て世代を応援するためにも雨天時などの遊び場もあると便利だと思う。子育て世代が利用したいと思えるような晴天時、雨天時の遊べる場所を検討していただきたいです。
23	小学校跡地施設	いくつかの小学校の跡地にコミュニティ施設の設置とあるが、どのような機能を持つのか、公民館機能ではなく、コミュニティセンターのようなものと考えているが、施設機能が明確ではありません。
24	小学校跡地施設	統合を予定されている藤田小学校、仁手小学校、旭小学校には、跡地に公民館のような施設を整備すると示されている一方で、児玉地域の児玉小学校、金屋小学校、秋平小学校には言及がなく、その点について、各小学校の跡地には公民館を整備するといった方針があるのであれば、統一して記載しなければならないと思う。
25	小学校跡地施設	台風19号のときに河川洪水や増水のおそれがあるので、旭小学校には避難できなかったという地域の方々の話もあった。方針では体育館を残すということだが、結局は避難ができなため、地域の方々にとっては、校舎を残して高い所に避難できる方が、より安心安全で望んでいることではないかと思う。そのような点を、地域の自治会長や自治会の方々などとしっかり話をしながら考えていくことが必要だと思う。
26	文化財収蔵庫	文化財収蔵庫をまとめることは大変良い取組だと思う。これまでも台風のときに浸水したり、いろいろな課題があった。是非、新しく施設を建てるのであれば、展示を兼ねた収蔵庫を整備してほしい。
27	文化財収蔵庫	埋蔵文化財の収蔵庫が市内にも何カ所もあり、今後、本泉小学校の第2グラウンドに新しく集約化するという説明がありましたが、収蔵するだけの施設ではなく、例えば本庄児玉の歴史的な縄文期から近世にかけての収蔵物を、子どもたちが学習できる、見学できるといった施設、あるいは、昔からの民具などを子どもたちが実際に使って体験できるような施設があると良いと思います。本庄市では、本庄早稲田リサーチパークで展示がされておりますが、子どもたちが実際に学習の中で手に触れて勉強したりとか、そういうことができると良いと思いますので、その点についていろいろと検討していただけたらと思います。
28	児童センター施設の再活用	前原児童センターについて、学童機能が移転して児童センター機能のみ残すのかが不透明である。施設が残るのであれば、シルバー人材センターや社会福祉協議会が入れるのではないか。日の出児童センターも同様に、解体するにはもったいないため、例えばふれあい教室などで活用するということも考えられる。
29	避難所・避難場所	小学校を統合した場合に、地域のコミュニティも大事だが、避難所機能という部分で体育館だけは残していくなど、そのような検討はこれから先あるのか。
30	住民説明会	7～8月の住民説明会に向けて、回覧物を用意してもらいたい。
31	住民説明会	7月号の広報で住民説明会を周知すると説明がありましたが、広報では字が小さいので、別に回覧物を作成して、より多くの方に知らせていただきたいと思います。
32	説明方法	大まかに説明していただいた後に、各自治会に関する説明をしていただけると助かります。「プロポーザル」などの専門用語を分かりやすくしていただけると良いと思います。また、坂戸市の学童の写真は、近隣のモデルの方がとても親近感を感じ、分かりやすいと思います。
33	見直し全体に関する意見	この方針については、本庄市としても大変な事業に取り組んでいくものになると思う。今後もし大変な思いをされると思うが、私としてもこのようなことは必要であり、資料の内容を見ると大変よくできていると感じる。通学する学校が変わるなど、多くの方々に影響を与えるものなので、早い決断と早い事業の決定推進、そして市民に対する周知が必要になるため、それらを加味し、市長にはトップダウンの気持ちでこの事業を進めていただきたい。

※各説明会等での口頭質問、アンケート内の自由意見の内容を反映しています。

※資料化に伴い、文言を一部要約、修正しています。

その他のご意見・ご質問

番号	分類	ご意見・ご質問の内容
1	まちづくり	農地を宅地に簡単に変更できるようにして、移住者を増やしてほしい。
2	まちづくり	地域性で温度差はある。これからの小学校区の説明会が大事になる。どんなまちを作りたいのか検討する中で、どんな教育、施設が必要か見えてくる。魅力がないところには住まない。今後の小学校区説明が大事になるので、小学校区別の資料が必要だと思う。住所変更・都市計画の見直しも検討。基本的には賛成。
3	まちづくり	児童生徒数の減少によって学校統合を進めていく方針が市の考え方と理解しますが、市として児童生徒数の減少を食い止める方策、人口を増加させるための取り組みが全く見えません。現在住んでいる地域においては農振地区で宅地転用が簡易に進まず、他のエリアに家を建てるという話を聞くこともあります。他の部署も巻き込んで協議を重ねていただければ幸いです。自分の子供が本庄地域に住んでいて、農地を宅地に転用するのに時間を要しました。耕作していない農地も増えています。
4	まちづくり	学校の統廃合の対象となっている地域ですが、やはり共通しているのは住宅が建てにくい地域であるということだと思います。例えば、旭、藤田などについては、家を建てるにも許可が出ない。そういう地域では、これ以上に人口が増えようがない。こんなに新幹線や高速道路、交通事情も環境が良い中で、やはり家が建てられないというところは問題があるのではないかと思います。
5	まちづくり	本庄市に住んで良かった、住んでみたい、これからも住んでみたいと思える本庄市になってほしい。農地を他地区から住宅ができるようにしてほしい。この機会に本庄市が変わってほしいと思う。
6	まちづくり	本日の説明資料は現状を考えると方向性は良いと思う。例えば藤田地区は農業だけを将来もありきで考え、策定するのは仕方がないことかもしれないが、もっと人を呼び込む施策（例えば、利根川沿線にドローン事業やヘリポートなど）を併せて検討してもらいたい。今後、住民説明会、パブリックコメントを行う中で、様々な意見があると思われるが、耳を傾けながら進めてもらいたい。

※各説明会等での口頭質問、アンケート内の自由意見の内容を反映しています。

※資料化に伴い、文言を一部要約、修正しています。